

理科だより

Sence of Wonder (センス オブ ワンダー)

No. 3 2022. 5. 19

高知市立高須小学校
理科だより編集部

「今日の天気は・・・」

先日、4年生の理科の授業に参加した時のこと。私たちが毎日のように使っている「今日は晴れた。外で遊ぼう。」「今日はくもりだから、かさがいるかなあ。」といった天気を表すことは「晴れ」「くもり」の決め方を学んでいました。日常生活の中ではテレビや新聞の天気予報で伝えられる内容をそのまま使っていると思います。

子どもたちは、空に雲が全くなければ「晴れ」とすぐに納得。では、「くもり」と判断するのはどんな状態のときなのでしょう？

天気の決め方は、空を見上げて見える範囲を10とした時の雲の割合で判断します。ちなみに私が参加したクラスでは10のうち5を越えたら、つまり、半分くらいに雲が見られたら「くもり」と予想した子どもが多かったです。正解は、10のうち8、8割以上の割合で雲が出ていたら「くもり」と判断されます。そこまでは「晴れ」となります。ちょっと意外な感じがしませんか。子どもたちからも予想外だったという声が出ていました。

半分と8割ではかなり印象が変わりますね。日常生活の中で、理学的な言葉がたくさん使われています。天気の決め方一つでも知っているより正確に自分の見たものや、感じたことを伝えられますね。最近の天気予報は精度も高く信頼できます。しかし、自分の目の前の天気は、自分の目で見て判断するのが1番正確です。この学習が、5年生での天気図を見ながらの学習へとつながっていきます。

4年生の皆さん、出かけるときに空を見て「今の天気は・・・」と話題にしてくれると嬉しく思います。

ちょっと珍しい雲の写真を紹介します。



これは数年前に旅行中に実際に会った空の写真です。スーパーセルとよばれるようで、左の方は晴れています。中心のあたりは風で時折稲妻も見えていました。巨大なクラゲの化け物が近づいてくるようで、この写真を撮ったあと、まともに飲み込まれ大変怖かった記憶があります。通過していったあとは嘘のような靑空と大きな虹が出ていました。写真の中にあるテントはかなり離れたところまで飛んでいました。自然のすごさを感じた出来事でした。

あたたかくなり、いろいろな生き物たちが姿を見せ始めました。

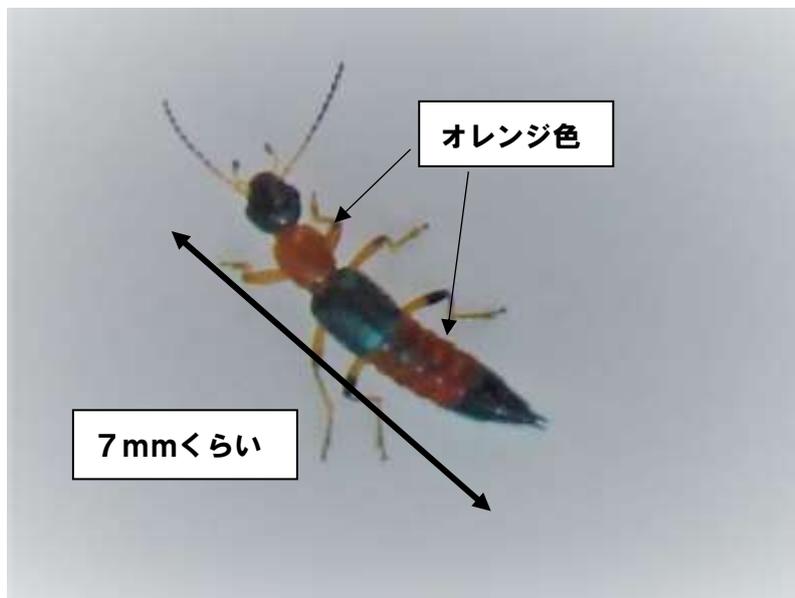
子どもたちにとって、命を感じる事ができる身近な存在の小さな生き物たち。高須小にもさまざま場所で多くの生き物が姿を見せてくれます。



学級園のあたりでは白いちょうが飛んだり、とまったりしています。近くの葉っぱの裏を見ると何やら小さいな粒がありました。ハート形に穴の開いた葉っぱの近くには怪しげな姿が…

この正体はきっと3年生が解き明かしてくれるでしょう。

このむしにちゅうい！！ アオバアリガタハネカクシ



このアオバアリガタハネカクシという虫は、暖かくなると姿を見せ、灯火にも飛来するため、比較的どこにでも見られます。

高須小でも学級園で見られます。(4月末に確認しました。)

この虫の体液が直接皮膚につくと、場合によってはやけどの水ぶくれのような症状を引き起こすことがあり「ヤケドムシ」と呼ぶ地方もあるそうです。体についていたときは決してたたかすにそっと払い落とすようにしてください。

理科だよりのNo.1, No.2のクイズの答え

No.1 ①フジ 北庭の藤棚で撮影しました。もうそろそろ花が咲くころかな。

②クワ 本校の中に1本だけあります。

No.2 私たちが食べている玉ねぎは、葉の付け根の部分だそうです。

モノクロ印刷では、写真が不鮮明で分かりづらい面があると思います。学校ホームページにまもなくカラー版を掲載しますのでよろしければご覧ください。